

# 私の 選んだ 一品



グッドデザイン賞  
審査委員コメント集 ⑦

日本産業デザイン振興会：編



白紙／巻

あたららしい生活。  
グッドデザイン賞の  
審査委員が、これはいい、  
面白い、と思った一品を  
ご紹介する本。

## 東京土産の大侵略

たった6本の紙パイプとはさみだけで、こんなバラエティに富んだロボットが作られてしまうなんて嘘のようです。ひとめ惚れして迷わず全種類を購入。不器用さには定評のある私も、これなら自分でも作れるー。と思ったはずが、いざ手元に届いてみると、なかなか自分で作る機会が訪れません。というのも、未開封の状態もとても愛らしく、手にも心地よく、つい誰かにプレゼントとして渡したくなってしまうのです。

海外から来ていたクライアントとの仕事の最終日、予期せぬトラブルが起こり、対応に追われてしまったことがありました。トラブルはなんとか收拾できたものの、先方が楽しみにしていたショッピングの時間がなくなってしまったのです。本人達は「大丈夫、また来るから」と言ってくれたのですが、気の毒な気持ちはぬぐい去



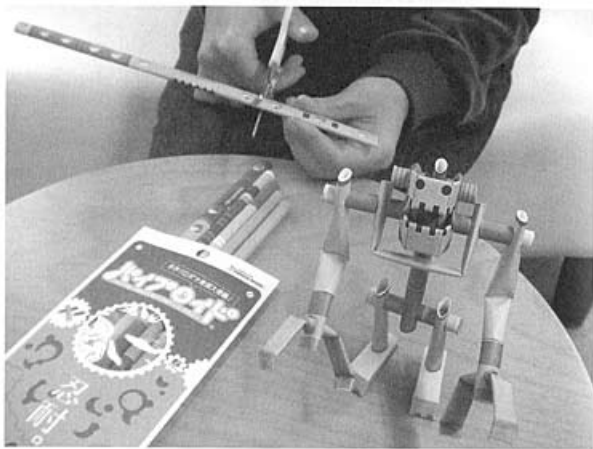
佐々木千穂 Chiho Sasaki

インタラクティブ、  
ヒューマンファクターズ スペシャリスト  
インフィールドデザイン 代表

(株)GKグラフィックス勤務を経て、イリノイ工科大学  
インスティテュート・オブ・デザイン修士過程にお  
いて、ヒューマンセンタード・コミュニケーション・  
デザインを専攻。1999～2004年IDEO JAPAN勤務。  
以降、医療機器やユーザーインターフェース、コミ  
ュニケーションツールなどのデザインを行っている。

れません。そのときに自宅に届いたばかりのパイプロイドたちを思い出し、翌日見送りがてら1種類ずつプレゼントとして届けに行きました。それを手にしたとたん滞在中はずっと口数少なく真面目にメモをとっていたエンジニアの方が目を輝かせ「これ、空港でも買える？ 海外からでも買える？ 他の種類も手に入れたいんだけど！」と大興奮で喜んでくれたのです。私がデザインしたわけでもないのに、私まで誇らしくなりました。

そんなわけで、パイプロイドは早くも私の「ありがとう」「ごめんね」「よろしく」の気持ちを伝えるちよつとしたギフトの定番になりつつあります。遠方からの友人にも、「かさばって迷惑かな？」なんて心配せずに渡せます。高校生の姪に渡したら、数十分後には完成写真がメールで送られてきました。「モノを大切にしたい」というメッセージを込めて開発されたというこの商品、実は「ヒトのつながり」にも一役買っているような気がしています。「地球大侵略」を目指しているのですが、私のような「手先」は他にも増殖している気がしてなりません。



紙工作  
パイプロイド  
(株)コト